

ブラジル・ウィークリー

2017年12月18日発行号
作成：日興アセットマネジメント

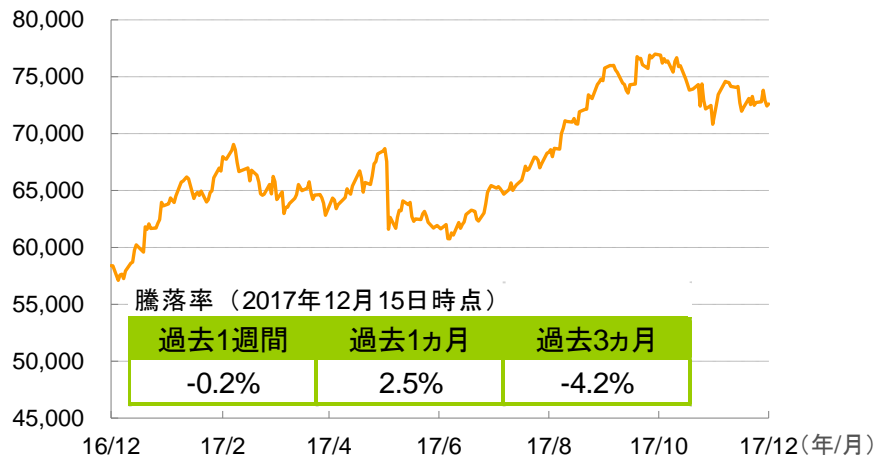


先週の ブラジル株式市場 の動き (12月11日～12月15日)

ブラジル株式市場は、ボブスバ指数で前週末比▲0.2%となり、週間ベースで2週ぶりの下落となりました。11日(月)は、ブラジル中央銀行のエコノミスト調査において、今年の経済成長率の見通しが上方修正されたことなどが好感され、上昇しました。12日(火)は、マイア下院議長が、「年金改革法案の下院での採決は翌週行なう予定であり、仮に実現しなかった場合でも18年早々に予定されている」と述べたことなどが好感され、続伸しました。13日(水)は、メイレス財務相が、「翌週の採決の日程はまだ何も決まっていない」と語ったことなどが嫌気され、ボブスバ指数は前日比▲1.2%と週の中で最も大きく下落しました。14日(木)は、マイア下院議長が年金改革法案の審議を18年2月5日に開始し、採決は同月19日に行なう意向を表明したものの、同月にはカーニバルという大きなイベントを控えていることから審議・採決は容易ではないとの見方が拡がり、続落しました。15日(金)は、テメル大統領による、2月の年金改革法案可決に期待するコメントが好感されたことなどから、反発しました。

ボブスバ指数の推移

(2016年12月15日～2017年12月15日)



レアル(対円)の推移

(円) (2016年12月15日～2017年12月15日)



12月15日時点(過去1週間=12月8日、過去1ヵ月=11月15日、過去3ヵ月=9月15日との比較)、なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

■当資料は、日興アセットマネジメントがブラジル株式市場などについてお伝えすることを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。